



君の未来は、ここにある



どこでもらえるの？

令和元年9月から、子どもの1歳6か月児健診のときに保護者へ配布しています。配布開始前に1歳6か月児健診を終えている場合や、ファイルがいっぱいになって2冊目、3冊目が欲しい場合は、次の場所で受け取ることができます。

- 子育て総合支援センター（4西3 であえーる岩見沢3階）
- 教育支援センター（4西3 であえーる岩見沢4階）
- 市立総合病院小児科（9西7）
- 福祉課

どんなファイル!?

えみふるふあいるは6つのパートで構成されています。記入内容や納物は代表的なものを記載していますが、使い方は人それぞれです。日常の暮らしに紛れてしまいがちな大切な書類や資料をつづったり、ポケットに入れたり自由に使ってみましょう。

えみふるふあいるの構成

フェイスシート
母子健康手帳などから転記し、幼少期の子どもの発育状況を確認できます

まなびの記録シート
入園、入学、卒園、卒業、習い事の履歴を記入し、子どもが大きくなったときに役立つことができます

そだちの記録
1歳6か月児健診の問診票がつづられた状態で受け取りますが、その後、3歳児健診問診票やその他の相談の記録など、成長や発達に関する資料をつづりましょう


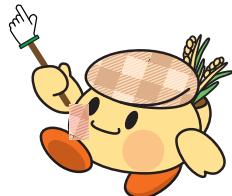
てあての記録シート
通院や入院などを記録できます。アレルギーなど子ども特有の症状などを書き留めておくと便利です

からだのポケット
母子健康手帳やおくすり手帳など、健康に関する大切な情報を収納しておきましょう

きおくのポケット
子どもが描いた絵や作品、思い出の写真など、子どもの思い出を収納しましょう

オプションシートを活用しよう!

ファイルの配布時にはつづっていませんが、成長曲線(男・女)、相談の記録、検査の記録、のシートを市ホームページからダウンロードできます。子どもの成長に合わせてお使いください。






市職員が出演して説明します
9月10日(金)
午後5時40分




えみふるふあいるって？

子どもが生まれてから高校を卒業するまでの長いライフステージに沿って、その成長記録をつづることができるファイルです。ファイルには子どもの成長はもちろん、医療機関の通院歴、習い事やクラブ活動の履歴なども記入できます。そのほか、母子健康手帳や診断書などの子どもに関わる大切な資料をまとめて保管することができます。

市は、子どもや子育てを支援するために必要な事業を定めた「子ども・子育てプラン」に基づき、さまざまな取り組みを進めています。

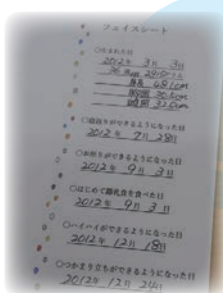
子育てをしていると困ったり、悩んだりすることが多くあります。そんなとき、周りの人や支援機関に相談することで、解決したり、気持ちが楽になったりします。

今月号は、子どもの成長を楽しみながら記録し、親子のコミュニケーションにも使える「えみふるふあいる」を紹介いたします。

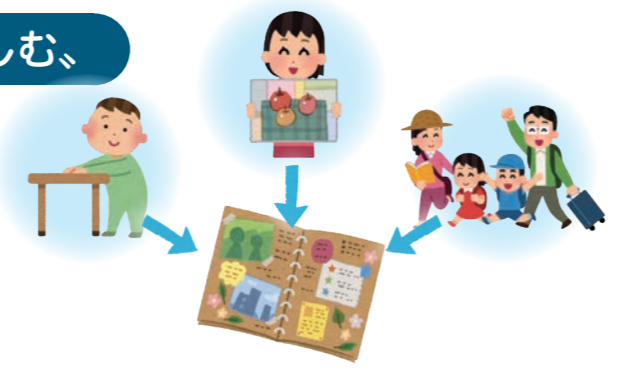
問合せ先 市教委子ども課子育て支援係（4西3 であえーる岩見沢4階） ☎35-5133

思い出や記録を『集めて楽しむ』

フェイスシートに



子どもが生まれた日のことや、寝返りができるようになった日、はじめて発した言葉など、子どもの成長を記録し、大きくなった時の思い出に



使い続けるための秘訣は？

ファイルを使い続けるには、楽しむことが大切です。私は、かわいらしくデコレーションしています。
 今回、ファイルを子どもと一緒に眺めてみて「ここが寂しいから写真があるといいね」といった会話ができたので、子どもとのコミュニケーションも楽しめそうです。
 これから使い始める方は、アルバム代わりに写真をたくさん貼ってみてはいかがでしょうか。ファイルを開く機会が増えるので、そこに思いついたことをメモしておくこともお勧めです。

子どもの作品はどうしていますか？

幼稚園のときの作品などは「かわいいな」と思ったものや、思い出に残るものを厳選してまとめています。年代によって作品がまったく違うので、それを見て成長を実感することもあります。
 これからは、思い出に残る作品や大きなものは、写真に撮って、それをプリントしてファイルにつづりたいと思います。

きおくのポケットに



思い出の写真や出来事をポケットにまとめておけます

園や学校、福祉・医療機関などで困ったとき『相談する』

記録シートに

子どもと関わった人、どんな関わりがあったかを記録しておく、相談の際、いろいろな手がかりになります

太田さんにとって役に立っていることは？

子育てをしていると、分からないことがあったり、イライラしてしまったりすることがあります。そんなとき、このファイルを開いて以前の記録を探し、話を聞いてもらいます。話を聞いてもらえると気持ちが楽になり、アドバイスしてもらおうと精神的に安定します。そして、そのこともファイルに書き留めています。

お子さんにファイルの感想を聞きました
 お母さんがファイルにいろいろなことをメモしてびっくりしました。これから、好きなアニメや遊びなども書いてもらえると嬉しいです。



「持っているけど使い方が分からない」「使っているけど、どんな時に役立つかイメージが湧かない」という方もいると思います。
 保護者が長く、気楽に、負担なく活用し、子どもと一緒に子育てを楽しんでほしいとの願いから、えみふるふあいるの使い方として、『記録する』『集めて楽しむ』『相談する』の三つを提案しています。
 今回は、実際にえみふるふあいるを活用している太田美穂さんに、その使い方などを聞きました。



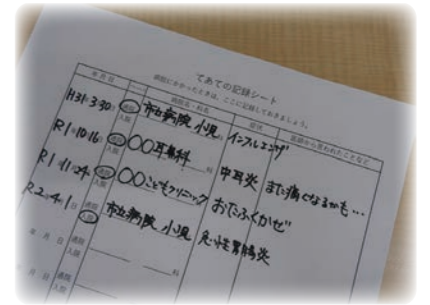
太田 美穂さん



育ちと学びを忘れないために『記録する』



てあての記録シートに



通院歴を書いておくと、いつ、どんな病気にかかったかを思い出せます

ファイルを使い始めたきっかけは？

子どもが小学2年生のときに、子育て総合支援センターの方に勧められ、2年間ほど使っています。
 母子健康手帳に体調の変化や身長、体重などの記録を書き留めていましたが書き切れなくなっていたので、とても助かりました。
 このファイルは、子どもが大きくなったときに、自分の成長を振り返る手がかりになると思います。

からだのポケットに



アレルギーなどの診断書やおくすり手帳を保管でき、病院にかかるときなど、これ一冊あれば子どもの状態を説明しやすくなります

どんなことに役立っていますか？

子どもが病気や怪我をしたり、病院を受診したりする際に、風邪を引いたときのこと、皮膚がかぶれたのはいつだったかなど、このファイルで振り返ることがあります。
 私は心配性なので、ファイルを見るとこれまでのパターンが確認でき、気持ちが落ち着きます。

まなびの記録シートに

忘れがちな入園、入学、卒園、卒業の年月日、習い事やクラブ活動などの履歴をまとめておくことができます

他に記録していることは？

短期間の習い事などは忘れがちになってしまうので、そのこともメモしています。
 きっと、子どもが大きくなって、興味や関心が広がったときに、子どもの頃のことを思い出してみるきっかけになると思います。

悩み・困りごとがあれば えみふるふぁいるを持って相談を

- **子育て総合支援センター**（4西3 であえーる岩見沢3階） ☎ 22-3337 メールでの相談はこちら



- **地域子育て支援センター**
子育て指導員による乳幼児の子育てに関する相談や育児サークル活動を行っています
- ▶ 子育てサロン（北5西10 なかよし保育園内） ☎ 25-1867
- ▶ 子育てルーム（東町1-8 ひがし認定こども園内） ☎ 23-8899
- ▶ 栗沢認定こども園（栗沢町南本町23） ☎ 45-3000
- ▶ ほろむい認定こども園とことん（幌向3-2） ☎ 26-3633

【子育て・発達について】

- **各保育所・幼稚園**
保育士などによる乳幼児の子育てに関する相談
- **各小・中学校、教育支援センター**（4西3 であえーる岩見沢4階） ☎ 35-5161
学校生活や思春期の問題などに関する相談
- **各児童館**
子どもや子育てに関する相談
- **保健センター**（4西3 であえーる岩見沢3階） ☎ 25-5540
母性、乳幼児の健康や発達に関する相談
- **常設型子育て親子ひろば ひなたっ子**（4西3 であえーる岩見沢3階） ☎ 24-0580
親子の交流や情報交換、子育てに関する相談
- **ことばの教室**
幼児、小学生の言葉の発達に関する教育相談
- ▶ 岩見沢幼児ことばの教室（4西3 であえーる岩見沢3階） ☎ 35-5108
- ▶ 岩見沢ことばの教室
・中央小学校内（7西16） ☎ 22-5108
・栗沢小学校内（栗沢町南幸穂66） ☎ 45-5108

【行政の窓口】

- **市教委子ども課子育て支援係**（4西3 であえーる岩見沢4階） ☎ 35-5133
子どもや子育てに関する相談
- **市教委子ども課保育幼稚園係**（市役所本庁内）
保育所、幼稚園の利用に関する相談
- **福祉課児童福祉グループ**（市役所本庁内）
子ども、ひとり親などの各種福祉サービスに関する相談
- **市教委指導室**（4西3 であえーる岩見沢4階） ☎ 35-5127
学校生活に関する相談

子育て総合支援センター 臨床心理士 小野寺 美里

私は普段、子育てや子どもの発達、ストレスなどの相談を受けたり、発達の検査をしたりしています。相談を受けるとき、えみふるふぁいるにこれまでの相談や検査の内容などが書かれていると、経過を知ることができるので、理解が深まり、アドバイスが充実します。

えみふるふぁいるを使用している方は、まだまだ少ないです。いろいろなことをメモし、活用することにつながるよう、現在3歳児健診のときに持参をお願いしています。相談がある人には記録用紙を渡して、そこにメモしてもらっています。また発達検査の記録用紙もつづってもらいます。

えみふるふぁいるは、教育、福祉、医療、保健など幅広い分野で活用できます。ファイルの中には支援の「手がかり、や「きっかけ、となる情報が集まっています。子どもと関わる方は「えみふるふぁいる持ってきた？」と声かけをお願いします。



安心して楽しく子育てができ、親子のコミュニケーションが深まる、えみふるふぁいるは、皆さんの子育ての強い味方です。「知らなかった」「使っていなかった」という方は、ぜひ手に取って、自分に合った使い方を考えてみてはいかがでしょうか。

市はこれからも「えみふるふぁいる」を通して、未来を担う子どもたちと子育てをする皆さんを応援します。

